

月刊

書字文化

～日本書字文化協会機関紙 No61～

平成 30 年



11月号

編集長 渡邊啓子

一般社団法人日本書字文化協会
代表理事・会長 大平恵理

〒164-0001 中野区中野 2-11-6 丸由ビル 301
電話 03 - 6304 - 8212 FAX 03 - 6304 - 8213
Eメール info@syobunkyo.org



目次 (全8ページ)

- ◇第7回伝統文化大会要項、課題など発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ◇2年目の検定・ライセンス制度改革まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ◇コラム「こころ」(大平恵理)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ◇第7回総合大会優秀作品展示・交流会開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ◇東・西・南・北(大阪、橋爪綾音)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

ウェブ版資料編

- ◇第7回伝統文化大会実施要項、課題解説

ホームページ大会結果欄で「第7回総合大会」の結果掲載が始まりました。フロントページの横タスクバーの右から2つめ「大会」にカーソルを当てると項目欄が出ます。その中の「結果発表」をクリックしてください。目下、各コンクールの文科大臣賞から優秀特選ベスト10までの受賞者名が掲示されています。後日、教育特別奨励賞を除く特別賞作品約130点の作品画像も掲示予定。個別ダウンロード用ページ付きです。

第7回伝統文化大会

実施要項、指定課題・解説を発表

日本の伝統文化の華ともいえるお正月の習俗にちなんだ全国書写書道伝統文化大会は、平成31年1月18日（金）応募締切で開催されます。大会を構成する「全国年賀はがきコンクール」（硬筆）と「全国学生書き初め展覧会」（毛筆）の指定課題の共通テーマは「新年の抱負」です。指定課題と解説はホームページで見ることができます。平成最後の年の初め、貴方の力を全国レベル審査で試してみませんか。（ホームページ当機関紙ウェブ版に実施要項、課題・解説）

大会の特色

① 指導の連携

書写書道教育の権威者らが、流派を超えて公正中立に審査します。最終的に書文協中央審査委員会が上位賞を決定しますが、金銀銅賞については指導教室の一審を原則的に尊重し、指導の連携を図ります。

② 他大会作品課題も受付

他大会への出品課題でも自由作品の部で受付。全国レベルでの位置づけが分かります。

③ お手本

お手本通りと言うのではなく、字体や配列などを学ぶことを期待しています。揮毫者は「用美一体を究めた文字」と評価される大平恵理・書文協会長です。書く実用性と審美を兼ね備えることが書文協の書写書道の目標です。

④ 「評価の観点」

大会参加がそのまま学びとなるよう「評価の観点」を公表しています。評価の観点は「とめ・はね・はらい」などチェックポイントを50項目に分けたもので、大会課題のどの書き方がチェックされるのかを示すものです。

⑤ 「園・学校特典」

幼・保園、学校がまとめて出品される時、一人当たり参考手本と年賀はがきコンクール応募清書用紙2枚が無料提供されます。（送料はご負担ください）

創立10周年（2020）目指し、改革2年目

検定・ライセンス制度の将来は

書文協は昨年9月下旬の会員総会で、検定・指導者ライセンス制度改革を打ち出しました。それから1年。今年は夏の相次ぐ災害のため各教室が取りこんでおり、9月24日の中央審査会当日恒例の会員総会は中止しましたが、当機関紙上で今後の方針を発表します。これまで、月刊書字文化に掲載してきたものを中心にまとめたものです。ご意見、ご質問を何なりと書文協本部にお寄せください。

<目標>

書文協の中心事業として検定・ライセンス試験を位置づける。本人の技量向上だけでなく、社会的評価の高い制度とし、検定は各種内申などにも効果あるものを目指す。指導者ライセンスは、実際にサークルなど現場で役立つことを大事にする。

<検定試験>

- ① 硬筆は楷書・行書に分かれている検定を一本化した新硬筆検定（硬筆課題検定）を2014年に新設。
- ② 毛筆は2020年度に半紙検定、本検定を一本化した「新毛筆検定」をスタートさせる。
- ③ 検定の一分野として、連綿、百人一首などカルチャー部門を置く。これにより検定は硬筆、毛筆、カルチャーの3部門となる（2020年度以降）
- ④ 検定は偶数月に実施する。該当月の20日までに受験作品を本部に送付、翌月15日を目途に返送する。
- ⑤ 毎回の検定受験課題数に制限は設けない。
- ⑥ 新硬筆課題検定添削指導コースを設けた（平成30年秋）
- ⑦ 従来 of 検定価格を改定

（新硬筆関連の実施概要、従来検定からの移行のための特別段級認定制度、添削指導コースなどの文書は、ホームページの「検定・ライセンス」ボタンより入った中段「検定試験の種類」、月刊書字文化ウェブ版資料編を参照してください）

<ライセンス試験>

- ① 検定成績と切り離し実施 現行は検定試験の1番課題からAまたはS合格で埋ると一定の課題数ごとにライセンス試験の受験（無試験での段級申請含む）ができる仕組みだが、新制度では、検定成績が条件とはならない。

- ② 指導者に必要な資質を求める点も加味 新制度では、作文などで受験者の書写書道及び指導者観を問う出題も含める。
- ③ ライセンス試験は何種にも分かれているが、検定と同一種類とする（2020年度から）。資格も現行の10段階から、初級・中級・上級・師範の4段階とし、皆に分かり易く、より実用的なライセンスとする。
- ④ ライセンス試験は年2回、5月と11月、その手続き期間は前々月の3月、9月とする。

<現行制度との関係>

- ① 現行の検定の段級・ライセンス資格は永久保存され、本人及び在籍教室の要求により記録が本人に開示される。また、内申資料として記録書が発行される（有料）
- ② 新検定が実施された場合、新たに旧検定での受験は認めない。
- ③ ただし、すでに検定受験を実施している教場は、教場指導の安定性を重視した措置として新入生を含め旧検定・ライセンスでの受検を認める。
- ④ 検定料金は平成30年10月から改定。新たに検定を始める人は新料金とする。ただし、すでに検定受験をしている人は平成31年4月から適用する。
- ⑤ 検定テキストは新硬筆検定を除き平成30年3月から販売を中止した。このため現行テキストのコピー使用を許可する。

<検定の改訂後の受験料>

| | 新硬筆 | 硬筆楷書 硬筆行書 | 半紙 本検定 | 毛筆行書Ⅰ 連綿 草書 | 百人一首 | 細字行書 |
|---------|------|--------------|-----------|------------------------|------|------|
| 1～24番 | 500円 | 500円 | 500円 | 500円 | 400円 | 500円 |
| 25～48番 | 550円 | 550円 | 550円 | 600円 | 450円 | 500円 |
| 49～72番 | 600円 | 600円 | 600円 | 800円 | 500円 | 500円 |
| 73～96番 | 650円 | 650円 | 700円 | 900円 | 550円 | |
| 97～120番 | 700円 | 700円 | 800円 | 1,000円 | 600円 | |
| | | | | 毛筆行書Ⅱ は全て 1,000円 | | |

AI と書写書道



AI (人工知能) という言葉を最近よく目にします。詳細にプログラミングしたコンピュータをロボットに入れて人間の作業をするAIロボットは、書写書道もその対象になるそうです。人の仕事の半分はAIにとって代わられる、という予想もあります。

何しろ「とめ、はね、はらい」などの運筆はもちろん、墨の濃淡、筆圧の強弱までプログラミングされた手書きフォント(書体)がすでに出来ています。このフォントのソフトを入れて手紙を書けば、手書き文字の活字印刷ができるという具合です。

手足が動かないハンディのある人の代わりに、AIロボットがその人のまぶたの動きの指令で“手書き”したら、その人の表情が出た手紙が出来上がると思います。相当地に詳細なプログラミングが必要ですが、私はそう信じたい。AIは弱者の見方でなくてははいけません。ですから、その意味ではAIというかITとは共存していきたいと思っています。

「初心不可忘」(初心忘れるべからず)という言葉があります。今年度の学生展・高校漢字部門の指定課題として出題されました。10月28日に東京・中野ゼロホールで開かれた優秀作品展示交流会でも何点か展示されました。その一人、文部科学大臣賞に輝いた大阪の高3女子は講習会で何度か見っていますが、普段からとても勢いがあります。応募作品は配置配列に腐心し、程よく勢いを抑えました。その絶妙のバランスが中央審査委員の先生方の心を射たのだと思います。彼女の日頃の研鑽と心の成長が生んだ抑制です。

AIに、この抑制心がプログラミングできるでしょうか。AIと書写書道の大きな壁となりそうなのは、この「情動」の部分だと思います。AIが、その人独自の心と情が詰まった手書き文字を書く日は遠い先なのでしょう。それはAIが「初心不可忘」と言う心を持つ日でもあるのでしょうか。

「あなたの字は眠ってるよ。しゃんとして書こうね」。すると生徒は見違えるほど上手な字を書きます。今日もまた、子供たちの心を思い、注意しながら教室を歩く私です。AIロボットも早くこれが出来るといいですね。

第7回総合大会

優秀作品展示・交流会開く

10/28 中野ゼロホール

第7回全国書写書道総合大会の優秀作品約130点を展示した「2018総合大会優秀作品展示・交流会」が28日（日曜日）、東京・中野の中野ゼロホール西館で開催されました。展示ギャラリーには毛筆作品は仮巻きで、硬筆作品は台紙に入れてアルバム立てに立てて展示。当人や家族、塾の先生ら多くの方が観賞しました。

展示会とは別に、学習室4で大会参加者らの交流会も行われ、出品者やその家族らが参加しました。メインは「学業と書写書道の両立」をテーマに約25人の参加者が行った1分間スピーチ。上手く話せないで涙ぐむ小学校低学年もいましたが、他の人の話しに皆耳を傾けていました。

遠方からの出席者も多く、高知県田野町からは田野小学2，4，5年生3人もが参加。同小の先輩早大生と顔を合わせ、語り合う世代を超えた交流風景も見られました。

助言者として出席した辻眞智子・中央審査委員会副委員長が最後に「皆さん、頑張りましたよね」と優しく語りかけました。交流会では文部科学大臣賞などの受賞者の表彰も行われ、最後に全員で記念撮影も行われました。記念写真は希望者にメールで送信されます。



集団記念写真

盛況の展示ギャラリー



文部科学大臣賞の表彰

故井上孤城・中央審査委員会
顧問の作品も展示された



東・西・南・北

高校3年 橋爪 綾音 (大阪・麗鳳書院生徒)

私にとっての書道と看護——文科大臣賞を受賞して

私は将来、看護師を志しています。患者さんの心に寄り添える看護師を目指しています。日頃から書と向き合い、人に感動してもらえる字を書けるように練習に励んできた私にしかできないことがあると思うのです。

看護師でも、大変なことや辛くてやめたいと思うこともあるかと思います。でも、人生の半分以上の11年間、書道をずっと続けてきました。私には継続する力があります。そこを生かして、一人でも多くの患者さんの力になれる看護師になります。

看護師の勉強と書道を両立させ、看護師の道でも書道の道でも尊敬される立派な人になれるように、努力を忘れず、日々専念したいと思います。

編集後記 橋爪さんの寄稿を読んで、キーワードが「感動」と「継続する力」であることに編集部一同うなりました。それは、まさに書文協が掲げる理念そのものなのです。賞取り競争ではない学びの心そのものです。

橋爪さんは第7回全国書写書道総合大会の全国学生書写書道展で文部科学大臣賞を受賞しました。小学低学年で書道を始め、何度も「もうやめよう」と思いながら11年かけてつかんだ快挙です。「看護師になっても書道を続ける」と周囲に話っていると聞いて「その心は？」と、東・西・南・北への寄稿を依頼し、受けていただいたのでした。

橋爪さんは「人に感動してもらえる字を書けるよう練習に励んできた」と言います。それを実行してきた自分にしかたれない看護師になる、と言うのです。「患者さんに寄り添う」には感動を分かち合うことが大事という考えは、看護の心として素晴らしいですね。そして、つらいことがあっても培った「継続する力」で思い描く看護師道に行く、というのです。

「綾音ちゃん、成長したんだね」と推測しています。人生の進路を考えることがきっかけだったのでしょか。字まで抑制の利いた素晴らしい字に変わったそうです。おめでとう。

(写真は橋爪さんの受賞作[初心忘れるべからず])



第7回全国書写書道伝統文化大会実施要項



1、構成

平成30年度全国年賀はがきコンクール

平成30年度全国学生書き初め展覧会



2、主催・後援

主催 一般社団法人日本書字文化協会

公益財団法人文字・活字文化推進機構

後援 (いずれも予定)

文部科学省 全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国高等学校長協会 全日本書写書道教育研究会 (全書研)

3、応募締め切り・審査結果発表

平成31年1月18日(金)必着、同2月末審査結果発表

4、作品送付・連絡先

書文協本部(大会事務局) 〒164-0001 東京都中野区中野2-11-6 丸由ビル3階

TEL 03-6304-8212 FAX 03-6304-8213 E-mail info@syobunkyo.org

5、優秀作品冊子発表(ホームページで)、学校・地教委への顕彰依頼

冊子発表:平成30年3月3日(日)

これに先立ち、優秀作品について応募者の在籍校、当該自治体あるいは地方教育委員会に顕彰依頼の連絡を行います。

6、大会役員

大会顧問

鈴木 勲 公益社団法人日本弘道会会長(元文化庁長官)

野口 芳宏 植草学園大学名誉教授

大会会長

大平 恵理 一般社団法人日本書字文化協会代表理事・会長

大会副会長

肥田 美代子 公益財団法人文字・活字文化推進機構理事長

運営委員長

渡邊 啓子 一般社団法人日本書字文化協会副会長・事務局長

7、出品規定

部門の課題ごとに参加でき、成績が決定されます

| 個別大会名 | 対象 | 部門 | | 点数 | 用紙 (縦長使用) | 署名 |
|------------------|---------------|----|----|----------------------------|--------------------------------|---|
| 全国年賀はがき コンクール | 幼児 ～ 一般 | 硬筆 | 指定 | 1点 | 応募清書用紙 または、 日本郵便はがき | 【幼児】 氏名（名前だけ でもよい） 【小学生～中学生】 学年・氏名を小四、中二 のように書く。 漢数字使用。 |
| 学生書き初め 展覧会 | 幼児 ～ 大学 | 毛筆 | 指定 | 1点 | 幼～小2 半紙 小3～中3 八ッ切 高・大 半切 | |
| | | | 自由 | 同一文言 でも用紙 が違えば 3点 | 半紙 八ッ切 半切 地域指定用紙 | 【高校～一般】 作品に応じて署名。 雅印のみは不可。 |

8、応募年賀はがき清書用紙、参考手本の発売

年賀はがきコンクールは、適正な審査のため、書文協本部が日本郵便はがきの紙質に近い応募年賀はがき清書用紙を製作しています。どちらかでご応募下さい。応募年賀はがき清書用紙は1枚13円。100枚以上は1枚10円に割引されます。参考手本は書き初め（毛筆、A3に縮小）は1枚100円、年賀はがきコンクール（硬筆実寸大）は1枚30円で販売します。上記＜団体参加（予定）申込書＞にてご請求下さい。毛筆手本は評価の観点とともにホームページで掲載用に縮小して公開されます。

9、園・学校応募 手本等無料特典

幼稚園、保育園、学校から応募される場合、応募者一人当たり応募年賀はがきコンクール清書用紙2枚、出品する該当学年の硬筆毛筆手本が無料提供されます。それを超えた部分は有料、全体の送料はご負担ください。参考手本は自由にダウンロードすることもできます。

10、出品料（消費税8%込み）

| 個別大会名 | 部門 | 団体出品・出品料 | | 個人出品料 |
|----------------|------------------------|----------|-------|----------------------|
| 年賀はがき コンクール | 硬筆 指定課題の部 | 幼・小・中 | 540 円 | 1,620 円 (学年に関わらず) |
| | | 高・大・一般 | 864 円 | |
| 学生書き初め 展覧会 | 毛筆 指定課題の部 自由課題の部 | 幼・小・中 | 648 円 | |
| | | 高・大 | 918 円 | |

※団体応募は、複数人数で出品（参加）する指導者がいる場合を言います。結果連絡、賞状・賞品伝達等は指導者を通じて行います。出品・人数は、伝統文化大会全体の合計数です。

※小数応募の加算金：団体が応募する場合、出品料の支払い合計が3,000円に満たない場合は、1,000円をプラスしてください。例えば、年賀はがき中学以下4点2,160円、学生書き初め展の中学以下1点648円、合計2,808円の場合、総額は+1,000円で3,808円となります。手数料、送料を補うもので、一般的にとられている方法です。

11、出品にあたり

書文協では全国書字検定試験、ライセンス試験、全国書写書道大会、講習会等における**事前参加登録制**（詳細は別紙「事前登録制について」を参照）を実施しています。

団体参加（予定）申込書（ホームページでダウンロード、あるいは書文協本部に請求）にて参加申し込みをしてください。次に個人別事前参加申込書を提出することで出品券が発行されます。作品に出品券を貼付して作品を一括書文協本部に送るだけなので、出品目録は不要となり、作業が大幅に省力化できます。

※すでに所属者一覧の確認を済まされている場合は登録用紙の提出は不要です。

出品券の貼り方は、年賀はがきコンクールは応募清書用紙の所定の欄に貼って出品してください。日本郵便はがきで応募する場合は、応募清書用紙の作品面上部2ヶ所にのり止めして下さい。書き初め展は、出品票（ダウンロード、あるいは請求）の所定の位置に貼ってください。出品票は、作品にべったりとはらず、作品からはがれない程度でOKです。

出品券のお名前の字体が賞状の名前印字の基となりますので内容をお確かめください。字体は希望に添えない場合があります。あらかじめご承知おきください。

12、手続き書類のダウンロード

手続き書類には＜団体参加（予定）申込書＞＜個人別事前参加登録用紙＞＜応募総括用紙＞＜応募明細用紙＞＜出品票＞があり、説明文書として＜事前参加登録制について＞がそれぞれ書文協ホームページにアップされています。

書文協ホームページのフロントページにある横タスクバーの右から2つ目の「大会」にカーソルを当てると、各項目がスクロールされます。その中の伝統文化大会をクリックし、大会実施要項の最後に必要用紙のダウンロードコーナーがあります。現物をご希望の方は書文協本部に請求してください。

13、個人参加の場合

個人参加の場合も団体参加（予定）申込書にて手本・用紙等申し込んでいただきます。出品料は、10の表にある通り1点1,620円となります。諸連絡費がかさむためです。ご了承ください。

14、振込先

名義 一般社団法人日本書字文化協会

記号 00130-1-728113

15、賞

各コンクール共通（予定も含む）

<特別賞>

文部科学大臣賞▶名誉大賞▶大賞▶中央審査委員会賞▶日本書字文化協会会長賞、文字・活字文化推進機構理事長賞▶小・中・高校長会会長賞、全日本書写書道教育研究会会長賞▶中央審査委員長奨励賞▶日本書字文化協会賞、文字・活字文化推進機構賞▶全日本書写書道教育研究会賞▶教育特別奨励賞

<準特別賞>優秀特選ベスト10（一定の水準に達しないと10点以下となります）

<本賞>

特選▶金賞▶銀賞▶銅賞

<総合の部>伝統文化賞。そのグランプリは文部科学大臣賞。

15、賞状印字

全ての参加者に賞状が出ます。出品者の氏名は事務局でコンピュータ印字することが可能です。希望の団体は応募時に1人30円分の印字代を添えてお申し込みください。

16、表装、記念アルバム受付

毛筆作品は表装、硬筆作品はアルバム作成を受注しています。応募作品は原則として書文協に帰属しますが、作品化希望者は例外とするものです。記念アルバムは作品のほか賞状のレプリカ、本人の写真が貼られます。複数の作品化希望の場合は、2冊目からは複写作品となります。アルバムにはアルバム立てが付きます。表装には紙表装と本表装があります。価格、申込締め切り日などは、結果発表の際にお知らせします。

以上

指定課題一覧

指定課題共通テーマ「新年の抱負」

年賀はがきコンクールは硬筆で指定課題のみ、学生書き初め展覧会は毛筆で指定課題と自由課題があります。書文協では、両コンクールともに、指定課題共通テーマは、第6回に引き続き「新年の抱負」としました。

日本では古くから、正月にお年始の風習が盛んでした。旧年中の交流を謝し、新年を祝い、今年の抱負（決意）を述べ、一層の交流を願うのです。遠方の相手などには手紙で年始を代用することが慣例となったのが年賀状・年賀はがきです。

2019年は天皇の退位、新天皇の即位があり、5月1日に改元されます。平成最後の年となるわけです。また、東京オリンピック・パラリンピックが翌年7月に迫り、ムードが高まるでしょう。

各自にも様々な出来事の予定・予想があると思います。決意、目標は自分にとって前向きで、世の中のためにもなることが大事です。

伝統文化大会への出品が、新年の抱負を固めるきっかけになれば幸いです。

(参考)

日本では古くから、正月にお年始の風習が盛んでした。旧年中の交流を謝し、新年を寿（ことほ）ぎ、抱負（決意）を述べ、新年の一層の交流を願うのです。遠方の相手等には手紙で年始を代用することが慣例となったのが年賀状（はがき）です。書き初めは、初めて文書を書く宮中の行事として始まりましたが、新年に改まった心で抱負（決意）を書く行事の意味合いが強くなりました。

両コンクール出品にあたり

お手本・用紙

<お手本の販売>

指定課題の年少～一般（書き初め展覧会は高校生）までの大平恵理揮毫の参考手本が11月初旬から販売されます。硬筆（原寸大）1枚30円、毛筆（A3判に縮小）1枚100円。送料はご負担ください。書文協ホームページより縮小版が11月中旬ごろアップされ、ダウンロードできます。

<書き初め展覧会用紙>

半紙、八ッ切、半切および各地域指定版とする。指定課題は指定用紙のみ。

<年賀はがきコンクール用紙>

「年賀はがきコンクール清書用紙」（書文協製）か郵便はがきで。

用紙の材質がまちまちで審査の公平に響かないよう、年賀はがきコンクールは書文協作成の応募清書用紙（はがき大、白地）か日本郵便はがきを使います。用紙は参加予定申込書で書文協にご請求ください。1枚13円。100枚以上は1枚10円に値下げします。送料はご負担ください。

<応募点数>

年賀はがきコンクールは指定課題1点。

書き初め展覧会は指定課題と自由課題の部があり、双方に応募できる。

指定課題は1点、自由課題は文言が異なるか、あるいは同じ文言でも用紙が異なれば1人3点まで応募できる。複数点数の場合は、その中の最優秀と認めた作品1点について審査し、賞を与える。

<園・学校特典>

幼稚園・保育園、学校単位で出品する時は1人につき参考手本1枚、年賀はがきコンクール応募清書用紙2枚が無料で提供されます。それを超える分は実費となります。送料は合わせて各自負担です。

書く上での注意

<筆記具>

筆記具は、全国年賀はがきコンクールは鉛筆やペンなど硬筆に限り、筆ペンは使用できません。鉛筆は2Bを推奨します。中学生以上はなるべくペンを使用してください。書き初め展覧会は毛筆のみとします。

<賀詞、日付、発信者は明確に>

誰が、いつ出したものか明らかにしましょう。新年を祝う賀詞（がし）も付けることを覚えてください。誰に出すかの相手意識を明確にしたいと思います。指定課題では、小学生以下はお友だち、中学生以上は目上に出す設定を基本にしています。

学生書き初め展覧会では、指定課題以外の文言を書く自由課題でも応募できます。

(課題文が異なれば1人3点まで出品できます。また指定課題を違う用紙で書いた作品2点まで、計5点まで応募できます。賞は、その中の最優秀作品1点が対象)。

<表記について>

漢字・仮名遣い

小学生は漢字は学習指導要領が定める学年配当に準拠します。総合大会では、漢字は全学年配当までを原則としましたが、伝統文化大会は学年末に近い大会であることから、一部の課題で該当学年配当の漢字を使用しました。

小説・詩歌の表記は原文通りではありません。学習指導要領では、子どもたちが古文に親しむことが奨励されており、歴史仮名遣いは原則として残しました。散文は句読点を付けました。

<自由課題の原則>

以上の原則は学生書き初め展覧会の自由課題でも同じです。毛筆用紙は縦書き、縦使用とします。文字によって表現することとし、審査は、止め、はね、払いや点画、配置の良さ等を考慮して行われます。

<氏名の書き方>

氏名の書き方は、参考手本の例によってください。落款印だけは不可です。氏名は、ひらがな・漢字を原則としますが、応募者に事情がある場合は、カタカナ、アルファベットも使えます。教室生は教室指導者を通して書文協本部に問い合わせてください。就学前幼児は、名（ファーストネーム）だけでも可です。

全国年賀はがきコンクール

| | |
|----------|-------------------|
| 幼児（年少年中） | けいこ なまえ |
| 幼児（年長） | おめでとう なまえ |
| 小1 | おめでとう げんきにあいさつ |

- 三十一年正月
小一 氏名
- 小2 おめでとう
たくさん字をおぼえます。
三十一年正月
小二 氏名
- 小3 あけましておめでとう
早起きをするようにします。
三十一年正月
小三 氏名
- 小4 新年おめでとうございます
ていねいな言葉を使うようにします。
平成三十一年正月
小四 氏名
- 小5 新年おめでとうございます
下級生のめんどろをしっかりとみたいです。
平成三十一年正月
小五 氏名
- 小6 明けましておめでとうございます
中学生になったら地域のボランティア活動に
参加します。
平成三十一年正月
小六 氏名
- 中学（楷書、行書同一） 明けましておめでとうございます
問題を自分で考え、何が良いか判断して
行動できるようにします。
平成三十一年元旦
中一、二、三 氏名
- 高・大・一般（行書） 謹賀新年
国際交流を深め、異文化の理解と共に日本の
伝統文化を大切にします。
平成三十一年元旦
氏名

全国学生書き初め展覧会

審査：指定課題（1人1点）と自由課題（1人3点まで）の部があります。審査は、指定課題と自由課題（複数出品の場合は上位1点を対象）合わせて行われます。

指定課題

| | | |
|-----------|-----|--------------------------------|
| 幼年（年少～年長） | 半紙 | く |
| 小1 | 半紙 | かく |
| 小2 | 半紙 | とぶ |
| 小3 | 八ッ切 | つよい心 |
| 小4 | 八ッ切 | 芽を出す |
| 小5 | 八ッ切 | 空を飛ぶ |
| 小6 | 八ッ切 | 一念発起 |
| 中1行書 | 八ッ切 | 頂上に挑む |
| 中2行書 | 八ッ切 | 学成り難し |
| 中3行書 | 八ッ切 | 力耕不吾欺 |
| 高校 | 半切 | <漢字の部> 人一能之己百之 |
| | | <かなの部> 元日や上々吉の浅黄空 小林一茶 |
| 大学 | 半切 | <漢字の部> 大道無門千差有路 透得此関乾坤独歩 |
| | | <かなの部> |

新しき 年のはじめに 思うこと ひとつ心につと
めて行かな

自由課題

課題文言：書きぞめにふさわしい自作、あるいは他コンクールでの該当学年課題等。

高校生以上は出品票に「出所」、「語句」も記入してください。

— 解説 —

全国学生書き初め展覧会

◆中2：学成り難し 「偶成」という題の漢詩の一節「少年老^{やす}い易^{がくな}く学成り^{かた}難し」からの言葉。若いうちはまだ先があると思っているが、年月はすぐに過ぎて、年を取ってしまう。だから若いうちから勉学に励まなくてはいけない、という意味です。漢詩は続けて「一寸の光陰^{いっすん こういん}軽んずべからず」と続きます。

◆中3：力耕不吾欺 「力^{りき}耕^{こう}吾^{われ}を欺^{あざむ}かず」。力^{たが}で耕^やす、とは力を込めた野良仕事を指します。田畑を一生懸命に耕せば、田畑は耕した人を欺かないでよく実る。つまり、自分が力を尽くせば、望む結果が出るという意味です。中国の昔の詩人陶淵明^{とうえんめい}の言葉です。

◆高校漢字の部：人一能之己百之

「人^{ひと}一^{ひと}たびしてこれを能^よくすれば、己^{おのれ}之^{これ}を百^{ひゃく}たびす」。他人

が一回でできることなら、自分は百回やってみる、という意味。努力を重ねれば、必ず目的を達成できるという教えです。

「四書」の一つとして知られている「中庸」に出てきます。

◆高校かなの部：元日や上々吉の浅黄空 一茶

江戸時代の俳人、小林一茶の作。「上々吉」とは、このうえなくよい、という意味。「浅黄」わずかに緑色を帯びた薄い青色のこと。今年の元旦は、とびきり上等の元旦だ。真青な空もなんと気持ちのよいことか、というめでたい句。

◆大学漢字の部：大道無門千差有路
透得此関乾坤独歩

大道無門 千差路有り 此の関を透得せば 乾坤に独歩せん
大きな道路には門がなく、四方八方にあけっぱなしである（千差路有り）。この無門の関をつらぬいて大道に至ったならば（透得せば）、その人は大手をふって天地（乾坤）を歩くことができるであろう、という意味とされます。

中国の仏教書「無門関」（禅僧、無門慧開著）にある言葉で、仏道に一定の入り方はない、という意味だとされます。

◆大学かなの部：新しき 年のはじめに 思うこと ひとつ心に
つとめて行かな

歌人で精神科医でもあった茂吉は、大正から昭和初期にかけてアララギ派の中心人物でした。歌の意味は、物事に精を出していきたい、ということで、新年の素直な決意を歌でさらりと表しました。